大和市人権指針改定検討委員会 第2回会議記録（要点筆記）

開催日時	令和7年8月29日（金）午後2時0分～午後3時30分	
開催場所	大和市役所 会議室棟 201会議室	
出席状況	委員	出席：7名 古賀会長、古谷田副会長、佐藤委員、永井委員、高橋委員 長沢委員、星野委員
	事務局	3名（国際・市民共生課長 他2名）
	傍聴者	0名
公開・非公開の状況	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開	

【次第】

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 前回ご指摘いただいた内容について
- 4 大和市人権指針改定 意見交換
- 5 そのほか
- 6 閉会

【資料】

- 資料1 大和市人権指針改定検討委員会 第1回会議記録（要点筆記）
- 資料2 大和市人権指針の目次 新旧対照表
- 資料3 大和市人権指針 改定案

【議事要旨】

- 1 開会
 - ◎国際・市民共生課長より挨拶
- 2 委員紹介
 - ◎高橋委員より自己紹介
- 3 前回ご指摘いただいた内容について
 - ◎事務局より資料1に基づき説明。
 - 質疑・意見他…特になし
- 4 大和市人権指針改定 意見交換

全体

 - 委) 和暦のあとに西暦が記載される標記に統一されていない部分や、注釈の数字がぬけていたりしている。
 - 委) 男女共同参画の項目では注釈が抜けている。

会) 注釈をその項目ごとに記載するか、または、最後にまとめて記載するか、どちらかに決める必要がある。

委) 注釈によっては、項目をまたぐものがあるため、ページ数との兼ね合いでその項目ごとに記載するか、または、最後にまとめて記載するかを事務局で検討すること。

委) 各内容について、所管する課が記載されていたほうがいいのではないか。

事) 指針の性格上、所管課までの記載はしない。

委) 文中に「大和市」と入れた後は「本市」となっている部分と、最初から「本市」となっている部分がある。最初の「大和市」も含めて、すべて「本市」の表記でよいのではないか。

会) 市の他の計画等と合わせること。

3 障がいのある方の人権課題

委) 成年後見制度は国連の委員会から廃止の勧告を受けているが、国内では推進されていることについては、どのように対応するか。

事) 所管課に相談する。

委) 成年後見制度は、認知症の高齢者向けにも推進されている。本人が意見を表す機会を奪っている可能性もあるが、助かっている人もたくさんいる。

委) 注釈等により、説明等を記載したらどうか。

委) 前文などに、どの立場の人でも、自分の言葉で自分の意見を表すことができることを人権指針に入れてほしい。

委) 「障害者権利条約」をもとに国内法が整えられたため、その点について加えたほうがいい。

会) 「障害者権利条約」について、加える。

委) 「合理的配慮」とは、どのようなものかわかりづらい。

事) 注釈をつけるか検討する。

4 外国につながる方の人権課題

委) 進駐軍の兵士と日本人女性との間に生まれ、孤児となった子どもたちを保護していた施設(通称：ボーイズタウン)が南林間にあったことがNHKで取り上げられていたが、このような背景があることについて、触れたほうがいいのではないか。そのような施設が設けられる素養が地域にあったことを表現したほうがいいのではないか。

委) 本市には定住促進センターがかつて設置されていたことなどについては記入してあるので、ボーイズタウンについて個別に触れるのではなく、多くの国と地域につながる方々、多様な方々がお住まいであることが本市の特徴であることのリード文への追加を検討する。

5 男女共同参画にかかると人権課題

委) (6) 外国につながる女性への保護と支援 を再掲にする必要はあるか。

事) 女性に係ることであるため、再掲としている。また、文化的に家父長制が強い外国とつながりがあるパートナーを持つ女性もいることから男女共同参画に再掲としている。文化的背景について記載すること、及び、構成についても再検討する。

7 貧困等にかかると人権課題

会) 外部からは気づかれにくい貧困が増えている。

事) 平成28年版の人権指針では「見えにくい」と表現していたところを、生活困窮の背景等の記載に変更しているが、再度「見えにくい」とした方がよいか。

会) (1) 生活困窮者への総合的な支援 のなかで、見えにくい貧困について追加する。

8 保健・医療にかかると人権課題

委) 「ワクチン接種に関する誤った知識」という表現は、ワクチン接種することを前提としている表現に受け取れる。

事) 表現を見直す。

9 インターネットにかかると人権課題

会) 相談においては警察も重要な窓口であるので、記載を追加する。

委) (1) メディア、インターネット等による人権侵害の防止 の2点目に「学校等で」とあるが、家庭や地域等に周知することも必要ではないか。

会) 1点目が周知することを表している。2点目は、学校に焦点をあてた記載になっている。

事) 説明文に家庭や地域等についての視点を加えることを検討する。

会) 11 自殺をめぐる人権課題、12 災害発生時の人権課題、13 さまざまな人権課題 についての意見指摘等があれば、事務局にメール等にて連絡すること。

5 そのほか

◎次回(第3回): 9月18日午前10時～

事) ご意見ご指摘等は、メール等で9月5日までにご連絡いただきたい。

6 閉会

◎副会長から、閉会の挨拶。

以上

注(会: 会長 委: 委員 事: 事務局)